



事故のない冬休みに そしてよい年を！

数多くの行事があった2学期も今日で終了し、明日からは、生徒たちにとって待ちに待った16日間の冬休みに入ります。

2学期は、大きな事故もなく、生徒たちの文武両面にわたる素晴らしい活躍が見られました。生徒たちの頑張りはもちろん、保護者の皆様のご理解とご協力によるものと、心より感謝申し上げます。

冬休み期間中には、クリスマスや正月など社会的な行事もあり、心せわしく落ち着かない時期を迎えますが、規則正しく事故のない生活を送ることができるようご協力をお願いいたします。

希望に満ちた新年(申年)を迎えられるようご祈念申し上げます。

面接練習を頑張っています！



3年生は、冬休み明けから始まる高校受験に向けて、面接の練習を行っています。高校により、個人面接か集団面接かのどちらかになります。生徒たちにとっては、初めての経験であり、緊張して練習に臨んでいるところです。練習を通して、受験生らしさを感じられるようになってきました。ご家庭でも練習の機会を作っていただければと思います。

愛寿園を訪問してきました！



17日(木)の午後に福祉部の生徒が、愛寿園を訪問し、クリスマスカードのプレゼントやハンドベル演奏を行い、おじいちゃんやおばあちゃんにたくさん喜んでいただきました。

《二中生の活躍》

県中地区低学年サッカー大会

3位 須賀川二中A

福島県声楽アンサンブルコンテスト

銅賞 須賀川二中A、須賀川二中B

吹奏楽アンサンブルコンテスト県南支部大会

金賞 クラリネット五重奏

銀賞 打楽器三重奏、金管八重奏

須賀川市文化祭「文芸大会」

俳句の部 秀逸 村田 果蓮(1年)

佳作 阿部 愛海(3年)

生命保険文化センター中学生作文コンクール

都道府県賞佳作 柏木 美紅(3年)

全国書画展覧会

特選 1年 杉原 愛 佐久間 奏

齊藤 なお 柏原 梨花

2年 橋本 優希

3年 佐藤 怜奈 齋藤 未菜

鈴木侑希乃

他、多数の入選あり

県明るい社会づくり作文コンクール

地区会長賞 切石 愛結(1年)

明るい社会づくり作文コンクール

入賞 坂本 萌・松川 未悠(2年)

前号で1年となっていましたので訂正します。

全国大会出場報告！

吹奏楽部

14日(月)の午後4時から須賀川市役所において、本校吹奏楽部のこども音楽コンクール全国大会出場報告会を行い、部長の小林萌花さん、副部長の橋本香澄さん、熊谷菜桜さんの3名が、部員を代表して出場の報告と抱負の発表をしてくれました。

市長さんや教育長さんから、お祝いや励ましの言葉をたくさんいただきました。

来年の1月24日(日)に全国大会(テープ審査)があります。結果が待ち遠しい限りです。



間もなくクリスマスがやってきます。心温まる話です。

サンタクロース

毎年クリスマスになると、私のところにもサンタクロースが来る。贈り物は、干し柿と落花生と焼いたにぎりめし。私がまだ何でも信じられる心を持っていた頃のことである。三つ年上の姉がどこで聞いてきたのか、「クリスマスの夜に靴下を枕元において寝れば、サンタクロースという人が来て、贈り物を入れてくれるんだって。」と、教えてくれた。

寝ている間に、ただで物がもらえるというまい話に、私と姉はクリスマスが来るのを胸を躍らせて待っていた。ところが一つ問題があった。私たちは足袋をはいていて、靴下を持っていなかったのである。

父にそのことを話すと、「そんなことはわけがねえ……なあに、靴下じゃあねえだって、入れ物ならなんだっていいんだ。」と言って、私と姉に一つずつ小さな竹かごを編んでくれた。それを枕元において眠ったクリスマスの朝、なんとその竹かごに、ちゃんと贈り物が入っていたのである。

干し柿は縁側の前に、のれんのようにつるしてあったから、決して珍しくはなかった。しかし、私の家にとって、冬の大きな現金収入になる大切な物だったから、透きとおるように甘そうなそれを、毎日目の前にしていても、食べることは許されなかった。私たちがそれが、冬の生活を支えてくれる物であることを、子どもながらに知っていたので、親の目を盗んで食べるようなことはしなかった。落花生も焼いたにぎりめしも、もちろん大好物。かごをかかえて、喜び勇んでいりばたに走っていくと、父も母も、「ええっ？ほんとうかい。たまげたなあ。」と、びっくりして、かごを覗いた。

さて、いりばたにすわって落花生を食べようとして、ふと、灰の上を見ると、驚いたことに、すでにそこには落花生の殻が散らばっているのである。夜のうちに誰かがここで食べたに違いない。首をかきあげている私を見て、父が言った。「サンタクロースがここで一休みして、落花生を食べていったんかなあ……あちこち廻るんで、疲れるんだよ。」

私は、白いひげをもそもと動かしながら、落花生の殻をわっては食べているサンタクロースという人が、夕べ、私が座っているこの場所にいたのかと思うと、さらに胸が高鳴ってくるのだった。そんなわけで、毎年クリスマスになると、大人になった私の心に、落花生を食べたサンタクロースの思い出がやってくるのである。暖かな贈り物を持って……。

「鈴の鳴る道」より

星野 富弘

成績アップ7ヶ条

成績を上げるための特効薬はありません。以下の7ヶ条は当たり前前のことですが、身につけていないで、大きな差となります。生徒の皆さんには、自分自身の学習を振り返ってほしいと思います。

- 1条 目標をもつこと。
目標のないところに成功はありません。
- 2条 計画を立て実行すること。
計画を立て集中して実行すること、そして継続が大切です。
- 3条 授業を真剣に受けること。
毎時間の積み重ねが大切です。
- 4条 ノートを工夫してとること。
書くことによって学び、視覚での効果もあります。
- 5条 学習習慣をつけること。
特に家庭での予習・復習をきちんとやるのが大切です。
- 6条 わからない問題をそのままにしない。
わかるまで、できるまでやるのが大切です。
- 7条 「3ない」を言わない。
わからない、できない、やらないでは成績の向上はなし。

こころの窓

冬休みには、社会的な行事があり、家族と一緒に生活する機会も多くなります。特に、正月は新しい年を迎える節目であり、年が変わるばかりではなく、気持ちの面でもフレッシュになれます。今までの自分の殻を破って大きく成長する絶好の機会ととらえてみてはいかがでしょうか。

ある雑誌の一部を紹介いたします。

喜びの言葉

「明けましておめでとうございます。」日本全国で皆がそう言って新年を迎えています。年が改まるとは、心も新たになるということです。去年まであった良いことも良くないことも、もろもろ含めて、今日から新たな気持ちで出発しましょう。

日々を明るい気持ちで過ごすのも、暗く生きるのも自由です。その決定権は自分自身にあります。明るく幸せな道を進む秘訣は、この言葉の中に潜んでいます。「おめでとう」「ありがとう」などとお互いにことばを交わしていると、何となく心が明るく、浮き浮きとした感じになるものです。喜びの言葉がこだまして、町全体にも清々しい雰囲気広がっていきます。

言葉は「言葉」と言われるように、不思議な力が宿っています。一年の計は元旦にあり。今日をスタートとして、明るい言葉遣いを、明日も明後日も続けていきたいものです。希望を掲げて、新しい第一歩を踏み出しましょう。